

授業科目名	【G】 教養講義(人体の構造と機能)		区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
			選択					
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	体育・スポーツ・健康科学の基礎				担当者	酒本 夏輝		
授業概要	【概要】	ヒトはからだの内部環境を相対的に安定に保つホメオスタシス(恒常性)を様々な方法で維持している。本講義では、体育・スポーツ科学や健康科学を学ぶ上で必要な生命活動および身体運動を理解する基礎学問として、人体の構造と機能について概説する。 人体の構造と機能に関する知識は、運動による身体の適応や怪我を理解する基礎となる。						
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・人体を構成する主な器官(神経系、骨格・筋系、呼吸器系、循環器系)の構造と機能について理解し、説明することができる。 ・講義で学んだ知識を実生活の場面で応用することができる。 						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	「身体のメカニズムとスポーツ」の単位取得者が望ましい。							
教科書	必要に応じて資料等を配布する。							
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「トートラ人体の構造と機能」大野忠雄他共訳、丸善株式会社 ・「カラー図解 人体の正常構造と機能(全10巻縮刷版)(第2版)」坂井建雄、河原克雅編集、日本医事新報社 							
評価方法	1~15回目までの授業内において小課題等を提示する。加えて、授業内に学習到達度の確認課題としてレポートを課す。 毎回の授業内小課題:30%・・・①、学習到達度確認レポート課題:70%・・・②、 ①+②=100%として評価する。 なお、授業への参加は成績評価の前提である。							
フィードバック方法	授業内及び授業後の課題返却時に適宜フィードバックを与える。							
評価基準	授業単元の内容について人体の構造と機能の観点から十分に理解し、根拠等も踏まえて説明することができた者は「S」または「A」、単元の内容についての理解や説明について不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元内容の理解自体が不十分な者は、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、出席要件を満たさない場合や学習到達度確認課題に取り組まないなど、評価不能の場合には「F」とする。							

授業科目名	【G】 教養講義（人体の構造と機能）	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	人体の構造と機能と身体活動の関係(履修方法、授業概要、評価方法の説明を含む)					
	予習： 「人体の構造と機能」という学問について調べる		復習： 人体の構造と機能を学習する意義について自身の考えをまとめる			
2	基本的な解剖学用語、身体構造の構築レベルと身体システム(ホメオスタシス、身体構造の構築レベル)					
	予習： 基本的な解剖学用語について調べる		復習： 人体のホメオスタシスとは何かまとめる			
3	細胞レベルの機構(細胞の構成物質・多様性、加齢と細胞、細胞とホメオスタシス)					
	予習： 細胞の構成物質について調べる		復習： 細胞がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
4	骨格系:骨組織(骨格系の構造、骨組織とホメオスタシス)					
	予習： 骨格系の主な機能について調べる		復習： 骨組織がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
5	骨格系:軸骨格と付属肢骨格(骨格系の分類、骨格系とホメオスタシス)					
	予習： 骨格系の分類について調べる		復習： 骨格系がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
6	骨の連結(身体の主骨の連結の種類、可動域、骨の連結とホメオスタシス)					
	予習： 骨の連結の種類について調べる		復習： 骨の連結がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
7	筋組織(筋組織の概説、運動と骨格筋組織、筋組織とホメオスタシス)					
	予習： 筋組織の種類について調べる		復習： 筋組織がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
8	筋系(骨格筋と運動、筋系とホメオスタシス)					
	予習： 運動に必要な骨と骨格筋との関係について調べる		復習： 筋系がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
9	神経組織(神経系の概観、ニューロン、シナプス、神経組織とホメオスタシス)					
	予習： 神経系の構成について調べる		復習： 神経組織がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
10	脊髄と脊髄神経(脊髄の構造と機能、脊髄・脊髄神経とホメオスタシス)					
	予習： 脊髄の構造と機能について調べる		復習： 脊髄・脊髄神経がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
11	脳と脳神経(脳の構造、大脳皮質の機能的構成、脳・脳神経とホメオスタシス)					
	予習： 脳の構造、大脳皮質の機能的構成について調べる		復習： 脳・脳神経がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
12	心臓血管系:血液(血液の機能と特性、血液とホメオスタシス)					
	予習： 血液の機能と特性について調べる		復習： 血液がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
13	心臓血管系:心臓と循環(心臓の構造と機能、血管と循環動態、心臓、循環動態とホメオスタシス)					
	予習： 心臓、血管の構造と機能について調べる		復習： 心臓と循環動態がホメオスタシスにいかに関与しているかをまとめる			
14	感覚系、運動系と統合系(感覚、体性感覚、大脳の統合機能とホメオスタシス)					
	予習： 感覚の種類、運動経路、統合機能について調べる		復習： 感覚系、運動系、統合系がどのように機能しているかをまとめる			
15	授業全体のまとめと学習到達度確認課題					
	予習： 人体のホメオスタシスの維持について調べる		復習： 人体の構造と機能を学習する意義、必要性についてまとめる(事後)			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する可能性がある。 ・授業毎の予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。 ・授業に対する質問等がある場合は、n.sakemoto@seiwa-univ.ac.jpまで連絡すること。 					